

地域と共に、安心と真心のお手伝い 虹のかけ橋

虹のかけ橋会・会報
創刊号
2008年3月

株式会社グレース
伊那市東春近車屋204-1
TEL.0265-76-1109
0120-88-1409



題字・護国寺住職 杉田寛仁様

●虹のホール伊那●虹のホール駒ヶ根●虹のホール高遠●グレース伊北●

「にじいろの和」創刊にあたって

株式会社グレース

代表取締役社長 三澤 芳秀



「にじいろの和」発刊にあたり一言ご挨拶申し上げます。虹のかけ橋会員の皆様におかれましては、日頃グレースの事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

（株）グレースは農協の全額出資の子会社として、冠婚葬祭事業を始め、美容衣装、食堂等の事業を展開してまいりました。特に昨今の葬儀は住宅事情などもあり、寺院やホールでの葬儀が大半となっていることはご承知のとおりであります。

今から四〜五十年位前、農協が葬儀事業に取り組み、祭壇を葬家や公民館等へ出張設営をして格安に提供したことは、民間業者の牽制にもなって祭壇相場が下がったことは、共同運動の結果であり組合員の皆様に大変喜ばれたことを思い出します。

その後時代の変遷とともに葬儀事業も変わり、自宅葬儀はほとんどなくなり、県内の農協でも平成三年にホール葬を行うようになりましたが、

グレースは遅れること約十年、平成十二年に「虹のホール伊那」の建設をはじめとして、十四年には駒ヶ根に、更に十六年には高遠にそれぞれホールを建設して参りました。

この間多くの皆様にご利用いただき、お客様からサービスや料理について大変ご好評をいただいております。お陰さまで上伊那管内の葬儀の半数近くを当社でお手伝いさせていただいております。

このような葬儀事情の中で会員や組合員からの要望もあり、この度関係各位のご協力によって「虹のホール竜西」が竣工のはこびとなりました。建設に当たりホール名の募集を行ったところ八八八名という大勢の皆様から応募をいただき期待と関心の大きさに驚きとともに責任を感じているところであります。審査の結果「虹のホール竜西」と決定しました。これからも社員一同、ご遺族の皆様の気持ちになり、故人を偲ぶにふさわしいご葬儀の施行に努力しながら、心からのお手伝いをさせていただきます。今後とも宜しくお願いします。

新 斎 場 名
決 定

虹のホール竜西

伊那西部地区に誕生するグレースの新斎場は厳正なる審査の結果、「虹のホール竜西」

に決定いたしました。本当に多くのご応募ありがとうございました。皆様から名前をいただいた「虹のホール竜西」は予定どおり、4月初旬のオープンに向けて建設工事が順調に進んでいます。

春日街道沿い「あじーな」隣的好立地にオープンする虹のホール竜西。地元の皆様をはじめ、組合員や地域の皆様にはお世話様になります。末永いご愛顧を宜しくお願いいたします。

2008
4月
OPEN

多くのご応募
ありがとうございました。



建設が進む虹のホール竜西

特別寄稿

「虹のホール竜西」に寄せて

天台宗 羽広山 仲仙寺

住職 師田 香雪

謹啓 早春の候、ますますご清業のこととお喜び申し上げます。このほどは伊那地区西部へ新しい「虹のホール」のご開設、誠にめでたくございます。葬儀が自宅から自宅以外の場所で営

まれるようになって、久しくなりますが、現在は「寺院」や「セレモニーホール（虹のホール等）」で営まれることが非常に多くなっています。

身近なホールは自宅感覚

医療や介護の場が、自宅から病院や各種の施設へと変化したように、できることなら自宅、とは思いますがも種々多様な要因によって、ほとんど不可能な状況になってきています。このような社会情勢にあつて、より近くに「虹のホール」が開設されることによって、自宅との距離が短縮され、以前に増して身近な存在となることと思ひます。

環境で変わる儀式観

そもそも葬式は、死者の置かれていた環境に依りて、その環境にふさわしい合理的な方法で行われてきました。



世界的には代表例として、国土の広い国では土葬、国土が狭い国では火葬、海上では水葬、燃料が貴重な国では鳥葬というような方法があります。このように見れば、車社会にあつて広い駐車場の確保や、個人重視の自宅の間取りからしても、葬儀会場が自宅から「セレモニーホール（虹のホール）」へ移行した事も必然といえます。

慈覚大師が比叡山において「信州羽広の里に観音利生の道場あり、観音お像を造り奉れ」という霊夢を覓じ、弘仁七年、山中に霊木を求め、十一面観世音菩薩像を刻み、残りの木片に写経をして安置されました。これより後、この山を経ヶ岳と称されるようになりました。

伊那谷随一の観音霊場として全国からの参拝があり、馬の観音様としても有名。千匹絵馬額をはじめ多数の絵馬が奉納されています。また、境内周辺は動植物の宝庫であり、長野県指定の自然環境保全地域、伊那市天然記念物の指定を受けています。

ひとすじの道で極楽往生願う

葬儀会場は変わつても、故人を弔い、御霊を極楽浄土へと送る心は変わるものではありませんが、長年住み慣れた自宅近くの場所から極楽浄土へ旅立てることは、ありがたいことでもあります。人生最後の締めくくりである、一度だけの葬送の儀式を、遺族縁者、隣組、

菩提寺、虹のホール担当スタッフがともに力を合わせて、それぞれの役割を果たし、ひとすじの道で御霊が極楽往生できることを願う、清浄な葬送儀礼の場となることを、ご祈念申し上げます。

合掌

寺院のご案内

天台宗 羽広山 仲仙寺

所在地 伊那市西箕輪羽広三〇五
電話 0265(73)5472

本尊 十一面観世音菩薩

開山 慈覚大師円仁

開基 慈覚大師円仁

開創 弘仁七年(八二六)

住職 中興第十八世 師田香雪

交通 中央道伊那IC西北4キロ

住所 信濃三十三観音霊場二十二番

伊那諏訪観音霊場第一番

ご存知ですか？

伊那路の魅力

昨 年十一月十四日、伊那市東部地区の「お寺めぐりツアー」が開催されました。駒ヶ根1号、伊那2号の六十名です。

皆 さん知ってはいるが、訪れた事は無いという方々ばかり。テレビドラマ「武田信玄」の影響もあり興味津々、期待大の様子です。

「ふきのとう」の皆さんの語り部で楽しいひととき

高 遠の町に入って語り部の「ふきのとうの会」の北村さん、北原さんと合流しました。お寺を含めた高遠の歴史を道々語っていた

だき、研究の深さに感心する人、ちよつと上級者向きかなと構えた人、

話に聞き入り2倍3倍楽しんだ人など様々でした。

晩 秋の山々は盛りを過ぎたとはいえ、私たちを優しく受け入れてくれました。

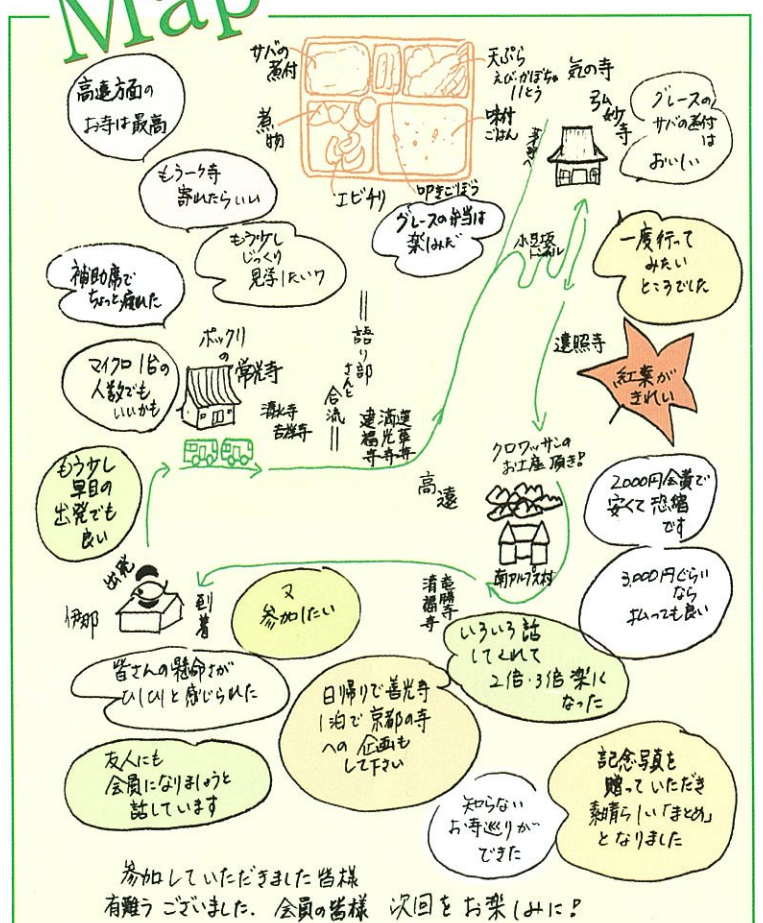
美しさに圧倒される
常光寺の天井絵

最 初に訪れた常光寺(伊那市手良)は、「ボックリ寺」で知られています。本堂の天井絵はお見事で必見です。

ご 住職は若き頃、芸術家になろうか迷った程だそうで絵画、書など芸術に造詣が深く、多くの作品を残しているらしいです。

次に訪れた弘妙寺(高遠荊口)は、

Map



近年「氣の寺」で有名です。

上田桃子プロも祈願した
氣の寺・弘妙寺

ゴ ルファアの諸見里、上田女子プロがツアー優勝できたのも

「氣の寺」のお守りのお陰との情報が流れ、全国的に知られて毎日ご利益を求める人が後を絶たないといふことです。最後に南アルプス村でクロワッサンのお土産をいただき帰路に着きました。

お寺めぐりツアー

虹のかけ橋会員様と共に

次回の
お寺めぐりはツアーは
五月の予定です。

話題
満載

虹のホール

お好きだった
お花で送る



好評です

オリジナルの花祭壇
たくさんのお花に囲まれて



故人様を偲ぶ
「虹のホール」メモリアルコーナー

多くの方々の協力をもってグレース生花部がスタートして9ヶ月がたちます。

● 花優先の環境づくりに全力 ●

立ち上げ当初は、市場からくる箱入りのつぼみの菊等にうまく水分が行き渡らず、きれいに花を咲かすことができなかったり。気候によって開花時期が変わり、調整が難しく早く咲きすぎたり、逆に咲かなかつたり。それに合わせた温度調整と花優先の環境づくりに四苦八苦。また、咲いてくれた花の顔は様々で、うつむいていたり見上げていたり。

そんな花たちに、気持ちよく調和のとれた位置に並んでもらうことも、至難の技です。でも、花びらの先まで水分の行き渡った花が咲きそろうた時は本当に美しく、花々を見ると生の息吹と癒しを感じずにはられません。

● 皆様のお気持ちを花で表現 ●

世の中には様々な宗教がありますが、必ずといっていいほど葬儀の場に生花が使われます。生に終止符を打つ故人へ、癒しと敬意を贈るために無垢な花が良いのかも知れません。

そんなご遺族の方々や生花を贈られる皆様の気持ちがうまく表せ、ご満足

グレースのスタッフ紹介①

生花部

いただき「お花、良かった」とお言葉を賜われるような生花づくりを目指し、生花部一同、グレーススタッフ一同、これからも頑張っていきたいと思えます。



編集後記

これからも会員皆様への情報コミュニケーションの場として頑張ります。

代田 京子
宮下富仁子
福澤 俊幸